

第3学年社会科学学習指導案

盛岡市立仁王小学校

指導者 和美 智教

単元名 わたしたちの地いきの仕事 - スーパーマーケットの仕事 -

単元について

子どもたちは、前単元「見つめてみようわたしたちの学区」の学習において、学校の屋上で観察をしたり、実際に道路を歩き探検したりしたことをもとにして絵地図を作成した。その中で、学区の地形の様子や土地の使われ方、市街地の広がり、主な公共施設のある場所など、さまざまな学区の特徴をとらえるとともに、主な地図記号や四方位を理解してきた。また、学区には様々な種類の店があることや店の大きさには違いがあること、商店が集まっている場所があることなどに気付いてきた。

本単元では、スーパーマーケットの仕事の様子について取り上げ、地域社会における消費生活について学習をしていく。スーパーマーケットで働く人々の仕事の様子や人々の買い物の仕方を具体的に調べることを通して、スーパーマーケットでは様々な販売の工夫をしていることや、消費者は品質や価格を考えて商品を購入していること、自分たちのくらしは消費生活を通して広く他地域とかがわりがあることをとらえることができるようにしていきたい。また、子ども自身が消費者として、よりよい消費生活の仕方について適切に判断することができるようにしていきたい。

仁王小学校の学区は盛岡市の中心に位置しており、住宅やマンションが広く分布しているが、商店も多く商業が盛んな地域である。地域の商店は、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、専門店など形態が多様であり、それぞれの商店では、買い物客を集め、品物を多く売るため消費者の好みに合わせた品揃えをしたり、宣伝をしたりするなど、販売を促進するための工夫をしている。また、リサイクルボックスを設置したり、安全管理をしたりするなど、消費者の願いに対応した工夫も行っている。

一方、消費者である地域の人々も、品質や価格、分量などを考えたり、環境や安全性を考えたりして品物を購入するなど、消費生活を進める上で工夫をしている。

また、地域の商店が国内各地や外国で生産された品物を消費者のニーズに合わせて仕入れ販売するなど、わたしたちの消費生活は、他地域と深くかかわっている。

子どもたちは、前単元「見つめてみようわたしたちの学区」の学習で、学区の様子を主体的に調べたり、学区の地図を友達と協力しながら意欲的に作成したりしてきた。その中で、子どもたちは、商店の形態の違いや買い物の様子に対する関心を高めてきている。

子どもたちは、家族と一緒に買い物をしたり、自分一人で買い物をしたりする経験があり、商店で働く人々の販売の様子や商店のつくり、商品の購入の仕方についてある程度の知識をもっている。しかし、子どもたちは商店で働く人々や消費者の工夫、他地域とのかかわりにより消費生活が成り立っているというところまでは気付いていない。

追究の様子を見てみると、学習の対象について積極的に調査活動をしたり、追究した内容を発表したりしている。しかし、社会的事象を一面的に見ることが多く、比較したり関連付けたりしながら深く追究するところまでは至っていない。

そこで、本単元では、子どもたちがより深く追究することができるように、買い物調べやスーパーマーケットの見学に基づいた子どもたちの問いを中心に学習を展開するようにしていきたい。そのことにより、子どもがスーパーマーケットの工夫について、問題意識をもちながら主体的に学んでいくことができるようにしていきたい。また、子どもの思考の流れに沿いながら資料を提示したり、体験や見学を通して調べたことや考えたことを交流をさせたりすることにより、子どもが一つの見方だけでなく、別の見方や立場（スーパーマーケットの立場、買い物客の立場、はたらく人の立場）に気づき、社会的事象を比較したり関連付けたりしながら多面的に考えることができるようにしていきたい。そのことにより、スーパーマーケットの販売の工夫を、働く人々との努力からとらえさせたり、他地域とのかかわりや消費者とのつながりから考えさせたりしながら、総合的に考えることができるようにしていきたい。

また、子ども一人一人の学びを大切にしながら指導に当たっていききたい。単元の学習の事前にアンケートをとったり、買い物調べをしたりして、子どもの実態に応じた授業を構成していく。指導の際には、座席表を用いてスーパーマーケットの販売と消費生活に関する学びの調査をし、調査結果をもとにして学習を進めていく。単位時間ごとに変容を期待し、学級の学びを高めることができる可能性のある子どもを抽出見とし、個に寄りそったきめ細やかな指導をしていく。その中で、個の学びを広げたり深めたりするとともに、手立てに応じた子どもの変容をとらえ指導に役立てていきたい。

単元目標

- 1 地域にあるスーパーマーケットの販売に関する仕事に関心をもち、販売・集客の工夫や販売に見られる他地域とのかかわりなどについて、進んで追究しようとする。（関心・意欲・態度）
- 2 地域にあるスーパーマーケットの販売の工夫や他地域とのかかわり、自分たちの生活とのかかわりについて考えるとともに、よりよい消費生活の仕方について適切に判断することができる。（社会的思考・判断）
- 3 家庭の買い物の様子を調べて表やグラフにまとめ、その傾向を読み取るとともに、スーパーマーケットの販売の様子を見学したり、よりよい買い物の仕方についてインタビューしたりして調べ、その過程や結果を工夫して表現することができる。（観察・資料活用の技能・表現）
- 4 スーパーマーケットで販売の仕事に携わっている人々は様々な工夫をしていることや、販売の仕事は他地域と結び付いており、こうした工夫や結び付きが自分たちの消費生活を支えていることを理解することができる。（知識・理解）

指導計画及び評価計画（16時間）

階	時	学 習 内 容	評 価 規 準	未達成の場合の手立て
問 題 の 把 握	1	買い物の経験について話し合い、買い物調べの計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物経験の話し合いから生じた疑問を解決するために、買い物調べをしようとする意欲をもつ。(関心・意欲・態度) ・家によって買い物の仕方に違いがあることに気付くことができる。(社会的思考・判断) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入の前に家の人と買い物をする経験をしておくように促し、その経験引き出しながら話し合いをする。 ・板書により実態を整理しながら進めていく。
	1	それぞれの店のよさや特徴について話し合い、店の販売の様子やよりよい買い物の仕方について追究する学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の店のよさや特徴について比較しながら考えることができる。(社会的思考・判断) ・自分がよく行く店の様子や買い物をしている人の様子を調べようとする意欲をもつ。(関心・意欲・態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店を利用した経験や写真資料をもとにしながら、店ごとに比較してその違いに気づかせるようにする。 ・様々な店の様子や買い物の仕方を具体的に考えさせる。
	1	買い物調べの結果をもとに、買い物地図を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行った商店の場所をまとめる方法を考え、買い物地図を作ることができる。(観察・資料活用の技能) ・買い物地図から分かることを話し合い、学級全体の買い物の傾向に気付くことができる。(社会的思考・判断) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵地図づくりを想起させ、マップに表すと分かりやすくなることに気づかせる。 ・どうしてその店に買い物に行くのか、どのようにして行くのかなど具体的に発問をしていく。
	1	買い物調べの結果をもとに、表やグラフに表し、スーパーマーケットの工夫について追究する学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフ化の意味を理解し、「買い物に行った店とその人数」の表やグラフを分かりやすく作ることができる。(観察・資料活用の技能) ・たくさんの買い物客が集まるスーパーマーケットの工夫や努力について、追究しようとする意欲をもつ。(関心・意欲・態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフに表すよさに気付かせていくとともに、表やグラフの枠を用意し、協力して作成できるようにする。 ・グラフの提示の仕方を工夫し、スーパーマーケットの利用が多いことを実感させる。
問 題 の 本 時	1	買い物客がよく集まるスーパーマーケットについて調べる計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットにたくさんの買い物客が集まる理由について、根拠をもちながら予想することができる。(社会的思考・判断) ・予想をもとにしながら、スーパーマーケットを見学する内容や方法を考えることができる。(観察・資料活用の技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの便利なところを買い物の経験や写真資料をもとに考えさせるようにする。 ・予想をもとにして調べる内容を考えさせたり、学区探検での調べ方をもとにして方法を考えさせたりする。
	2	計画に従って、スーパーマーケットを見学する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットにたくさんの買い物客が集まる理由を意欲的に調べている。(関心・意欲・態度) ・見学してわかったことをノートに記述することができる。(観察・資料活用の技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットでは、自由に観察したり、インタビューしたりできるようにする。 ・事前にノートへの記入の仕方を指導する。
	2	見学したことを発表資料にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・見学してわかったことを意欲的に発表資料にまとめている。(関心・意欲・態度) ・見学してわかったことを発表資料に効果的に表現することができる。(観察・資料活用の技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の調べてきたことを認める。 ・まとめ方の指導をするとともに、効果的にまとめている子どもの書き方を広める。
	1	スーパーマーケットの工夫について調べたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えと自分の考えを比較しながら聞くとともに、買い物客を集める工夫として適しているか判断することができる。(社会的思考・判断) ・見学してわかったことを効果的に伝えることができる。(観察・資料活用の技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の写真や発表資料をもとにして、発表内容が、たくさんの買い物客を集める工夫になっているか考えさせる。 ・発表の仕方を指導するとともに、効果的に発表している子どものよさを広める。
追 究	1	スーパーマーケットやスーパーマーケットに携わる人々がたくさん商品を買ってもらうために行っている工夫や努力をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの販売の工夫と買い物客の購買意欲を関連付けて考えることができる。(社会的思考・判断) ・スーパーマーケットでは、たくさん商品を買ってもらうために行っている工夫や努力について理解することができる。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬体験やVTRのをもとにして考えさせることにより、具体的に考えることができるようにする。 ・話し合いをもとにして、大切なことを板書に位置付ける。ふりかえりの段階の机間指導で、スーパーマーケットの工夫を想起させる。
	1	スーパーマーケットで売られている品物はどこから来るのかという問いをもち、学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・品物を包装している段ボールや袋を見て、品物の仕入れ先について調べる学習問題を設定することができる。(社会的思考・判断) ・品物の仕入れ先について調べる方法を考えることができる。(観察・資料活用の技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・VTRや実物を用意し、具体的に考えることができるようにする。 ・VTRや実物から、スーパーマーケットに行けば、調べることができることに気付かせる。
	1	課外で調べたり集めたりしてきたことをもとに話し合い、他地域との結びつきをとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の産地をふるさとマップに表すことができる。(観察・資料活用の技能) ・品物が広く国内各地や外国から運ばれてきていることをとらえることができる。(知識・理解) ・他地域から品物を仕入れている理由について考えることができる。(社会的思考・判断) 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物地図の作成の仕方をもとに考えさせる。 ・ふるさとマップをもとに考えさせる。 ・商店で働く人や買い物客の話からとらえさせる。
1	品物の買い方を交流	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者がどんなことに気をつけて買い物を 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の牛乳を用意し、具体的に 	

	し、よりよい買い物について追究する学習問題を設定する。	しているか、根拠を持ちながら考えることができる。 (社会的思考・判断) ・よりよい買い物の仕方について調べる方法を考えることができる。 (観察・資料活用の技能)	考えさせる。 ・これまでの追究の方法を想起させる。
1	調べたことともに話し合い、よりよい買い物の仕方についてまとめる。	・商品の品質表示から、どのような情報が書かれてあるか読み取ることができる。 (観察・資料活用の技能) ・消費者は、品質表示を見ながら、品質や価格、量などを考え、工夫して買い物をしていることを理解することができる。 (知識・理解)	・一つ一つ観点を与え、どういう意味なのかを読み取らせていく。 ・おうちの人へのアンケートを調べ、それぞれの家庭で様々なことに気づけていることをとらえさせる。
まとめ	1 学習をふり返り、スーパーマーケットや消費者の工夫をまとめる。	・スーパーマーケットや消費者の工夫を理解することができる。 (知識・理解) ・消費者として、工夫した消費生活をしようとしている。 (関心・意欲・態度)	・これまでの自分の生活や学習をふり返って、これから自分が消費者として工夫していきたいことを具体的な場面で考えさせるようにする。

本時の指導

1 教材と子ども

前時では、多くの買い物客を集めるためにスーパーマーケットがどんな工夫や努力をしているのか、子どもが作成した発表資料をもとに交流してきた。その中で、スーパーマーケットは、買い物客を集めるために、品揃えや表示、陳列、宣伝、サービス、施設面などの工夫や努力をしていることをとらえてきている。また、その中で、スーパーマーケットはたくさん買ってもらうための工夫や努力もしているという思いをもっており、『たくさん買ってもらうために、スーパーマーケットではどんな工夫や努力をしているのだろう。』という学習問題を設定している。たくさん買ってもらう工夫や努力と買い物客を集める工夫や努力は、一致するものも多いと思われる。しかし、たくさん買ってもらう工夫や努力の方が、買い物客の立場や働く人の立場に立って考えることができると考え、発表を通しての話し合いをもとにしながら、子どもともにこのような学習問題を設定した。

本時では、『たくさん買ってもらうために、スーパーマーケットではどんな工夫や努力をしているのだろう。』という学習問題で学習を進めていく。このような学習をすることを通して、スーパーマーケットの販売の工夫や努力を買い物客とのつながりや働く人々の努力の面からも考え、とらえさせていきたい。

本時では、前時の予想で一番予想が多いことと買い物客の立場や働く人の立場で考えることができることから「品揃え」に視点を当て学習を進めていく。

本時の前半では、スーパーマーケットの工夫を、買い物客とのつながりから考えていく。初めに、買い物客が肉を選んでいる写真を提示することにより、買い物客の立場に視点を転換し、品揃えの工夫と買い物客を結びつけて考えていく動機付けを図る。その後、何種類の肉があるか予想させた後に、実際のスーパーマーケットの肉の陳列の写真を提示する。そのことにより、子どもは驚きをもつとともに、「どうして、そんなにたくさんの種類の肉を売っているのか」という問いを表出すると思われる。そして、「どうして、そんなにたくさんの種類の肉を売っているのか」商品を選ぶ活動をもとに話し合いをしていく。買い物客の立場に立って商品を選ぶことにより、スーパーマーケットと買い物客とのつながりについて考えることができると思われる。そのことから、スーパーマーケットが買い物客に商品を買ってもらうためにたくさんの種類の商品を用意していることをとらえさせていきたい。

本時の後半では、スーパーマーケットの工夫を働く人々の努力の面から考えていく。初めに、どのようにして、肉が売り場に並んでいるのかを話し合うことを通して、肉をパック詰めしている人の仕事について注目させる。次に、肉のパック詰め作業の様子 of VTR をもとに、働く人々の仕事や気づけていることについて話し合っていく。そして、店長さんのお話の VTR をもとに考えの検証をしていく。VTR では、開店前から作業していることやすばやく正確に作業していることなどに気付かせる。そのような子どもの想像がつかない事実と出会わせることにより、スーパーマーケットで働く人々が買い物客に商品を買ってもらうために努力をしていることを実感させたい。

また、座席表を活用して、これまでの子どものスーパーマーケットの工夫に対する考えを把握し、授業中や授業後の考えの変容を検証できるようにしていきたい。さらに、本時では2名の子どもを抽出児とした。抽出児は、これまでの学習から特に見方や考え方を高めたい子どもである。また、その子の学びを広めることにより学級の学びを高めることができると思われる子どもである。本時において、意識的に個別にかかわり、考えを取り上げながら見方や考え方を育てていきたい。

2 ねらい

- ・スーパーマーケットの品揃えを見つめることを通して、スーパーマーケットの販売の工夫と買い物客の購買意欲を関連付けて考えることができる。【社会的思考・判断】
- ・たくさん商品を買ってもらうためにスーパーマーケットが行っている工夫や努力について理解することができる。【知識・理解】

3 展開

段階	学習活動	時間	支援と評価(: 研究にかかわる支援 : 評価)	資料・掲示等
問題の把握	1 学習問題を確かめる。 たくさん買ってもらうために、スーパーマーケットではどんな工夫や努力をしているのだろう。	2		
	2 スーパーマーケットの品揃えの工夫を、買い物客とのつながりから考える。			

問 題 の 追 究	(1) 買い物客が肉を選んでいる写真をもとに、何をしているところか話し合う。 ・肉を選んでいる。	5	買い物客が肉を選んでいる写真を提示することにより、視点の転換を促し、品揃えの工夫を買い物客の立場に立って考えていく動機付けをする。	・買い物客が肉を選んでいる写真
	(2) スーパーマーケットの肉の陳列の写真をもとにしてどんな種類の肉を売っているのか話し合う。 ・鶏肉や豚肉や牛肉がある。 ・量が違う。 ・切り方が違う。 どうしてこんなにたくさんの肉があるんだろう。	3	・実際のスーパーマーケットの肉の陳列の写真をもとにどんな種類の肉があるか話し合った後に、肉の種類数を提示することにより、子どもに驚きをもたせ、「どうして、そんなにたくさんの種類の肉を売っているのか」という問いを表出させる。	・スーパーマーケットの肉の陳列の写真 ・肉の種類の数
	(3) 「どうして、たくさんの種類の肉を売っているのか」商品を選ぶ活動をもとに話し合う。 ・お客さんによって選ぶ肉の種類が違って来るから、お客さんのために肉を準備しているんだ。	10	買い物客の立場に立って考えることの必要感をもたせながら、肉を選ぶ活動することにより、スーパーマーケットが買い物客のことを考えて品揃えをしていることを実感させる。その中で、選ぶ人によって、ほしい肉が違うことに気付かせていく。 評価1 【発言・ノート】	・肉の実物
	(4) 「どうして、たくさんの種類の肉を売っているのか」確かめる。	5	・店長さんとお客さんのお話のVTRをもとにして、スーパーマーケットが商品を買ってもらうために、いろいろ商品を用意していることをとらえさせる。	・店長さんとお客さんのお話のVTR
	3 スーパーマーケットの品揃えの工夫を、働く人々の努力の面から考える。 (1) 肉をパック詰めしている人の仕事について考える。 ・肉をいろいろな大きさに切っている。 ・切った肉をパック詰めをしている。	3	どのような手順で、肉が売り場に並んでいるのかを話し合うことを通して、肉をパック詰めしている人の仕事について注目させる。	・肉のパック詰め作業の様子のVTR
	(2) 肉のパック詰め作業の様子のVTRをもとにして、働く人々が気をつけていることを話し合う。 〔肉のパック詰め作業の様子〕 ・肉をスライスしてパック詰めしている様子 (3) 店長さんのお話のVTRをもとに、考えの検証し、感想を発表し合う。 〔肉のパック詰め作業の様子〕 ・肉をスライスしてパック詰めしている様子 〔店長さんのお話〕 ・開店前から、パック詰めを開始していること ・すばやく正確に作業をしていること ・衛生管理に気をつけていること ・お客さんのためにたくさんのパック詰めをして商品をそろえている。そのことがたくさんのお客さんに商品を買ってもらう工夫だということ	3 6	・VTRを見ることにより、働く人々の仕事の難しさを実感させる。 ・どんなことに気をつけているのか話し合うことにより、働く人々の努力についての考えをもたせる。 ・VTRをもとに考えの検証をする。VTRでは、仕事の様子や開店前から作業していることやすばやく正確に作業していることなどに気付かせる。そのような子どもの想像がつかない事実と出合わせることにより、スーパーマーケットで働く人々がお客さんにたくさん商品を買ってもらうために努力していることを実感させたい。 評価1 【発言】	・店長さんのお話のVTR
ま と め	4 本時の学習のふりかえりを行う。 (1) ふりかえりをノートに書く。 (2) ふりかえりを発表する。	5 3	・次の観点でふりかえりを書かせる。 わかったこと 思ったこと、考えたこと 知りたいこと 評価2 【発言・ノート】 ・数人を指名して発表させることにより、肉をはじめとするたくさんの商品がどこから来るのかという問いを取り上げ、次時につなげる。	

4 評価計画

	評価規準	具体的評価規準A	具体的評価規準B	未達成の場合の手立て
評価1	・スーパーマーケットの販売の工夫と買い物客の購買意欲を関連づけて考えることができる。 (社会的思考・判断)	スーパーマーケットが買い物客に商品売るために、いろいろな種類の商品を揃えていることを、スーパーマーケットに携わる人々の努力の面からも考えることができる。	スーパーマーケットが買い物客に商品売るために、いろいろな種類の商品を揃えていることを考えることができる。	模擬体験やVTRのもとにして考えさせることにより、具体的に考えることができるようにする。
評価2	・スーパーマーケットがたくさん商品を買ってもらうために工夫や努力について理解することができる。 (知識・理解)	スーパーマーケットが買い物客に商品売るために品揃えの工夫をしていることを、買い物客とのつながりや働く人々の努力の面からも理解することができる。	スーパーマーケットが買い物客に商品売るために品揃えの工夫をしていることを理解することができる。	話し合いをもとにして、大切なことを板書に位置付ける。ふりかえりの段階の机間指導で、スーパーマーケットの工夫を想起させる。